



## 外国出張報告書

平成 28 年 2 月 1 日

1. 出張国名      ガーナ
2. 出張月      平成 27 年 11 月
3. 出張目的      アフリカ稲作振興の試験の結果調査およびアフリカ稲作普及促進整備の次期試験準備：B
4. 成果の概要      

アフリカ稲作振興に関しては、プロジェクトサイトである Zaw 村で共同研究としてサバンナ農業研究所が担当した実証試験の結果を得た。本年は雨季の始まりが遅く、ガーナ北部州は全般に低収量で、特に干ばつが厳しかった Zaw 村の畑地では収穫皆無であったが、低湿地では僅かながら収穫を得られたケースがあった。

アフリカ稲作普及促進整備調査に関しては、プロジェクトサイトの Ngow 村の補助かんがい実証試験圃場を訪れ、試験区画の収量調査を実施するとともに次年度の試験用種子を確保した。また、サバンナ農業研究所のスタッフとともに農家が保管する収穫物を計量し、農家圃場の収量を得た。水田造成初年目の無かんがい試験区は周辺圃場の半分程度の収量であったが、補助かんがい農家圃場は周辺圃場の 2 倍近い収量を得ることが出来た。